

## 令和5年度 理知の杜日本語学校仙台校自己点検・評価

学校法人理知の杜日本語学校仙台校

### ◆評価方法

- A 「達成されている」若しくは「適合している」  
 B 「概ね達成されている(適合している)が、不十分なところが残っている。」  
 C 「未達成(未適合)だが、達成若しくは適合になるために取り組んでいる。」  
 D 「未達成若しくは適合していない。今後の課題である。」  
 X該当しない。

理念・教育目標・育成する人材像		評価
1.理念 ・国際化社会において、さらなるグローバル化の進展が見られる中、必要不可欠なことは、国家間の平和的かつ友好的な関係の構築であり、その実現には、民間(一般)レベルでの深い相互理解も大きな役割を担うことが必要であると考えている。 2.教育目標 ・日本語の修得を希望する海外の優秀な人材を受入、日本語教育を通して、日本に対する深い理解と調和のとれた国際人を育成し、日本の将来の発展に貢献できる人材を育成する。 3.育成する人材像 ・諸外国の言語、文化、習慣を理解し、受容し、調和していける人材がこれからより一層求められる。日本語で「話す」「聞く」「読む」「書く」ことを修得し、不自由なくコミュニケーションが図れるような能力を育成すると同時に、日本の「文化」「習慣」等も教授し、日本に対する深い理解を持てるような人材を育成する。		
自己点検・評価項目		
1.理念・教育目標		全体
1-1	理念が、教職員にしっかり周知されているか。	A
1-2	教育目標が、教職員にしっかり周知され、その実現に向けて鋭意努力しているか。	A
1-3	育成する人材が、社会の要請に合致しているか、そして、人材像が教職員及び学生に周知されているか。	A
課題・改善点		
・理念、教育目標については問題ないと思うが、人材育成の「文化・習慣」という点について、学生自身が深く理解していると言われるとまだまだ難しい部分があると思われるので、全教職員の共通認識のもとに、機会あるごとに指導していく必要がある。 ・教育目標や理念の教職員への周知は、十分にされている。		
2.学校経営		全体
2-1	理念・目標・目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか。	A
2-2	組織運営や人事、財務管理規定が整備されているか。	B
2-3	教職員の採用・定員管理・研修及び評価は適切に行われているか。	B
2-4	予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確であるか。	C
2-5	外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがあるか。	B
2-6	意思決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能しているか。	B
2-7	学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っているか。	A
2-8	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っているか。	B
2-9	業務の見直し及び効率的な運営の検討が組織的に行われているか。	B
課題・改善点		
・備品や消耗品購入に当たっては、財務管理規定に則って執行しているが、予算編成等については、学校法人との共通認識のもとに編成されることが望ましい。 ・日本人スタッフしかおらず各言語での情報提供は行えていないため、今後の認定日本語教育機関の申請に向けても外国人スタッフの登用も検討した方がよい。 ・忙しい時期(COE申請業務、学生の入国)の人員確保、増員などが行えるとよい。		
3.教育活動		
(1)教育活動の計画		全体
3-1-1	日本語教育機関の告示基準第六(教育課程)は守られているか	A
3-1-2	理念・教育目標に合致したコース設定をし、目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成されているか。	A
3-1-3	国内、または国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしているか。	A
3-1-4	教育目標に合致した教材を選定しているか。	A
3-1-5	補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか。	A
3-1-6	教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られているか。	A

課題・改善点		
・日頃から教員間で学生について情報共有をおこなったり、学期ごとに職員全体で振り返りを行えているのはとてもよい。		
(2)教育活動の実施		全体
3-2-1	授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っているか。	A
3-2-2	教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴、その他、指導に必要な情報を伝達しているか。	A
3-2-3	学生が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか。	A
3-2-4	授業記録及び出席簿を備え、正確に記録しているか。	A
3-2-5	理解度・到達度の確認を実施期間中に行っているか。	A
3-2-6	特定に支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けているか。	×
課題・改善点		
・特定に支援を必要とする該当学生はいない。		
(3)教育活動を担う教職員		全体
3-3-1	校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めているか。	A
3-3-2	教育の指導力向上のための取組を行っているか。	A
3-3-3	生活指導責任者が特定され、その職務内容及び責任と権限を定めているか。	A
3-3-4	入管事務担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限を定めているか。	A
3-3-5	教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化しているか。	A
3-3-6	教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っているか。	B
3-3-7	教員及び職員の評価を適切に行っているか。	B
課題・改善点		
・教職員への評価制度はないため、今後法人として年に1度など人事考課があると良いのではと考えている。 ・職員の人数が少ないため、生活指導は全員で行っている。		
4.学修成果		
(1)成績判定と授業評価		全体
4-1-1	判定基準及び判定方法が明確に定められ適切に行われているか。	A
4-1-2	成績判定結果を的確に学生に伝えているか。	A
4-1-3	判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証しているか。	A
4-1-4	学生による授業評価を定期的実施しているか。	C
4-1-5	授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されているか。	C
課題・改善点		
・学生からの授業評価を全クラスで定期的実施して、学生がどのような授業を望んでいるのか、実情を把握していけば、今後の授業の組み立てに生かせるのではないかとと思う。		
(2)教育成果		全体
4-2-1	入学から修了・卒業までの学習成果を記録、保管し、適正に管理しているか。	A
4-2-2	修了・卒業の判定を適切に行っているか。	A
4-2-3	日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握しているか。	A
4-2-4	卒業又は修了後の進路を把握しているか。	A
4-2-5	卒業生及び修了生の状況を把握するための取組を行い、進学先等での状況や社会的評価を把握しているか。	A
課題・改善点		
・日本語能力試験は基本的に団体申し込みで行っているためしっかり把握ができています。ただ、個人で申し込みをしている学生もいるため、そういった学生の結果などの把握を徹底していきたい。		

(3)進路に関する支援		全体
4-3-1	学生の希望する進路を適切に把握しているか。	A
4-3-2	進学等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか。	B
4-3-3	入学時から一貫した進路指導を行っているか。	A
課題・改善点		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談や学生が相談しに来た時など担任が主となって進路指導を行っている。</li> <li>・進学先からの資料を保管はしているものの、学生がもっと自由に使える空間にできるよう改善が必要だと思う。</li> </ul>		
5.学生支援		
(1)学生支援		全体
5-1-1	学生支援計画を策定し、支援体制が整備されているか。	A
5-1-2	学習相談に対する支援体制が整備されているか。	A
5-1-3	進路に対する支援体制が整備されているか。	A
5-1-4	留学生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に日本での生活指導等の支援体制が整備されているか。	A
5-1-5	住居支援を行っているか。	A
5-1-6	アルバイトに関する指導及び支援を行っているか。	A
5-1-7	健康管理、衛生管理について支援する体制を整えているか。	A
5-1-8	対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入しているか	A
5-1-9	重篤な疾病や傷害のあった場合の対応及び感染症発生時の措置を定めているか。	A
5-1-10	交通事故等の相談体制を整備しているか。	A
5-1-11	火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的に行っているか。	A
5-1-12	気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知しているか。	B
課題・改善点		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生保険に加入してはいるものの学校内や登下校時しか保証の対象になっていないため、管理下外の場合でも保険金がでるものに加入できないものかと思う。</li> <li>・災害時の避難訓練は行ってはいるがもう少し頻度を高めると学生にも定着しやすいと思う。</li> <li>・オリエンテーションにて日本での生活やアルバイトについてなど、ルールも含め何度も指導しているものの、なかなか身につかない学生もいるため、根気強く継続して指導していく必要がある。</li> </ul>		
(2)入国・在留に関する指導及び支援		全体
5-2-1	入管事務担当者は、研修受講等により適切な情報取得を行っているか。	A
5-2-2	入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っているか。	A
5-2-3	在留上、問題のある学生への個別指導を行っているか。	A
5-2-4	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っているか。	A
5-2-5	過去2年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていないか。	B
課題・改善点		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーバーワークをしないように、日頃から機会をとらえて、徹底的に指導し、日本の法律遵守の精神を育てていきたい。</li> </ul>		
6.教育環境		全体
6-1	安定的に教育活動を継続するための校地及び校舎が整備されているか。	A
6-2	教室、その他の施設は「日本語教育機関の運営に関する基準」及び「日本語教育機関の告示基準」に適合しているか。	A
6-3	教室内は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されているか。	A
6-4	教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能であるか。	B
6-5	教員及び職員の執務に必要なスペースを確保しているか。	A
6-6	同時に授業を受ける学生数に応じたトイレを設置しているか。	A
6-7	廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状であるか。	B
課題・改善点		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・階段が1方向にしかないため、火事、地震発生時に迅速に安全に避難することができるか不安である。</li> <li>・図書室が狭いため、多くの学生が一同に会して図書室を利用することが困難である。</li> <li>・現在は学生数に合った校舎だと言えるが、今後学生数が増えることを考えると、図書室の充実化や自習の際に活用できる場所の確保など課題はかなりあると思う。</li> </ul>		

7.入学者の募集と選考		全体
7-1	入学者の募集は、学生の受入方針に基づき適切に行われているか。	A
7-2	入学志願者に本校の学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件等が正確に伝えられているか。	A
7-3	海外の募集代理人（エージェント等）に正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握しているか。	A
7-4	入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っているか。	A
7-5	入学志願者の学習能力、勉強意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認しているか。	A
7-6	入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されているか。	A
7-7	関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ、公開されているか。	A
課題・改善点		
・海外のエージェントと日常的に情報交換を行っており、信頼関係を築いている。そのため、募集活動及び入学選考など適切に行っている。		
8.財務		全体
8-1	財務状況は、中長期的に安定しているか。	B
8-2	予算・収支計画の有効かつ妥当なものとなっているか。	B
8-3	適正な会計監査が実施されている。	B
8-4	財務情報の公開の体制はできているか。	B
課題・改善点		
・予算、財政情報など、法人事務局と共有しながら学校予算の執行を考えていきたい。		
9.法令遵守		全体
9-1	出入国管理及び難民認定法令等の遵守と適切な運営がなされているか。	A
9-2	個人情報保護のための対策をとっているか。	A
9-3	地方出入国在留管理局、その他関係官公庁等への届出、報告を遅滞なく行っているか。	A
課題・改善点		
・関係官公庁等には、適切に適宜に報告を滞りなく行っているが、今後とも遅滞なく取り組んでいきたい。		
10.地域貢献・社会貢献		全体
10-1	日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	B
10-2	学生ボランティア活動への支援を行っているか。	D
10-3	公開講座等を実施しているか。	D
課題・改善点		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方との交流やボランティア活動への支援を来年度以降実施していきたい。</li> <li>・今年度は地域の方々との交流をすることがなかなかできなかったため、今後学校行事などで地域の方々と関わるができる機会を作りたい。</li> <li>・現状を考えると学生ボランティア活動への支援は、難しい状況であるが、外郭団体と連携しながらボランティア活動への支援を行ってきたい。</li> <li>・地域の小中学校及び大学との交流ができれば、留学生にとって日本語を学習する上で大きな刺激になるのではないと思う。</li> </ul>		

